

運動に挑戦する子どもの育成

東蒲・上条小学校

当校では、体力向上のスローガン「運動に挑戦する子ども」の育成を目指して、次のような方策を行っている。

1 体育学習の充実と展開

(1) 体を動かす楽しさ・喜びの獲得に向けた環境構成

- ・ 環境整備の一環として、教具「ストラックアウト」を購入した。子どもたちは楽しみながら取り組み、成功する喜びを獲得した。体力テストのボール投げの平均数値が、昨年度の県平均を上回ることに繋がった。
- ・ 教員研修のツールとして、「奇跡のレッスン」の書籍と映像教材を利用した。運動に挑戦する子どもを育成するコーチングや体育授業に活かすビジョンを学んだ。

(2) 体力テストによる実態把握と体力向上の確実な取組

- ・ 体力テストの結果から、シャトルランに課題があり、全校で2学期の重点種目とした。「体力づくりハンドブック」から持久力に該当する運動を選択し組み合わせて、体育授業の中で計画的・継続的に取り入れた。
- ・ 異学年合同の体育授業を意図的に行った。持久走では相乗効果で競い合う意識が生まれ、記録も向上した。
- ・ マラソン練習では、ラインの内側を逆走する教員とのハイタッチを行うことで、走る挑戦意欲を持続させた。

2 学校行事等における創意と工夫

(1) 体育的行事での目標設定と意識付け

- ・ 全校朝会で、サッカー本田圭佑選手プロデュース「夢ノート」を提示しながら、夢を実現する道筋を紹介した。
- ・ めあてを達成するための手立てを、子どもにフィードバックした。マラソン大会前には、休日でも校庭や自宅の周囲をランニングする姿が見られた。大会後には、ステップアップするための方法をフィードバックした。

(2) ふれあいタイム等における運動の選定と教師の在り方

- ・ ふれあいタイムでは、全身持久力に結び付く「しっぽとり」を全校で行い、喜びながら運動に親しんだ。
- ・ 昼休みには、野球部出身の校長とソフトボール部出身の教員とで、子どもたちと一緒にソフトボールを行った。モデルを示すことで、子どもたちの向上心を喚起した。

3 少人数でも楽しめる運動や遊びを取り入れる活動

(1) 学校スポーツの伝統「一輪車乗り」

- ・ 休み時間には、一輪車乗り挑戦している。上学年児童が下学年児童に優しく教え、互いに楽しんでいる。

(2) いろいろなバリエーション「イチローキャッチ」

- ・ 二人組の背面投げによるイチローキャッチだけではなく、一人ビッグバウンスによるキャッチも人気がある。